

自治体（他地域）への事業活動 （担当：遠座）

1月の動き

◆就労開発・支援事業

各地の健康・生きがい就労トライアルの動き

◎宝塚市

1月24日宝塚市立中央公民館にて開催された宝塚市健康生きがい就労トライアル市民向け募集説明会において、就労トライアルの意義について講演しました。介護系6事業者、保育系2事業者から21人の求人が出されており、全体説明会のあと各事業所ブースで市民向け説明が行なわれ、参加高齢市民から求人とほぼ同数の求職票が出されました。

2月から各事業所毎に現地説明会と面接が行なわれ、3ヵ月就労が開始されます。



◎茨木市

健康・生きがい就労トライアル事業について該当シニアが多い北摂地域を中心に府内に広げていきたいとの大阪府の意向により、1月25日大阪府の担当者（福祉部高齢介護室統括主査）と茨木市役所を訪問し、市福祉部 地域福祉課、福祉総合相談課、生活福祉課等5課の5名に対し、健康・生きがい就労トライアル事業について説明しました。

府の担当者から事前確認として、「各市町村の高齢者福祉部門（旧厚生省管轄）の人間にとって「就労」という言葉が入ると労働政策部門（旧労働省管轄）の仕事で自分たちの仕事ではないと思われかねないので、健康（介護予防）・生きがいづくりの福祉政策としてアピールしてほしい、言葉遣いには注意してほしい」と言われ、縦割り行政の弊害を感じました。府の担当者から、茨木市に対し、手間が少なく、費用は府が負担するので2023年度にやってみませんか？と投げかけられ、茨木市からは検討してみるとの返事がありました。

◆その他

①1月19日 大阪産業大学経営学部経営学科の2年生以上130人にNPO健康生きがい就労ラボの設立経緯や取り組み実績について特別講義（講義70分+質疑応答20分）を実施しました。

【感想】

・80代の高齢者や、介護施設の利用者でも社会に出て働けるということにとっても驚きました。自分が高齢者になった時に就労トライアルのような機会があればとても助かると感じました。

・まとめででてきた、「人と社会の変革」という言葉と意味を忘れずに目指したいです。

・凄く新鮮な話であり記憶に残りました。少子化と高齢化は両立するのかを考えさせられる講義でとても素晴らしいかったです。

・私自身、他人事ではなく、将来自分もなりうる立場である為、今回学んだことは忘れず、大切にしたいと思います。

などが寄せられました。



②1月20日 豊中市第8回就業促進講座で「働くことが健康な毎日をつくる 元気なシニア社会の歩き方」を講演（講演90分+質疑応答20分）を行いました。（於：とよなか男女共同参画センターすてっぷ）

【感想】

・半年前豊中市主催「とよなか健康大学」に入学し色々勉強しましたが、この講義の内容を録音して再放送許可されることが可能であれば、健康大学で勉強している生徒たちに見せたいと思います。本当に素晴らしい講義内容でした。

・お金のためではなく、幸せのために働くということの意味がわかりました。

・働くことの刺激をもらいました。働く意欲が今以上に湧いてきました。

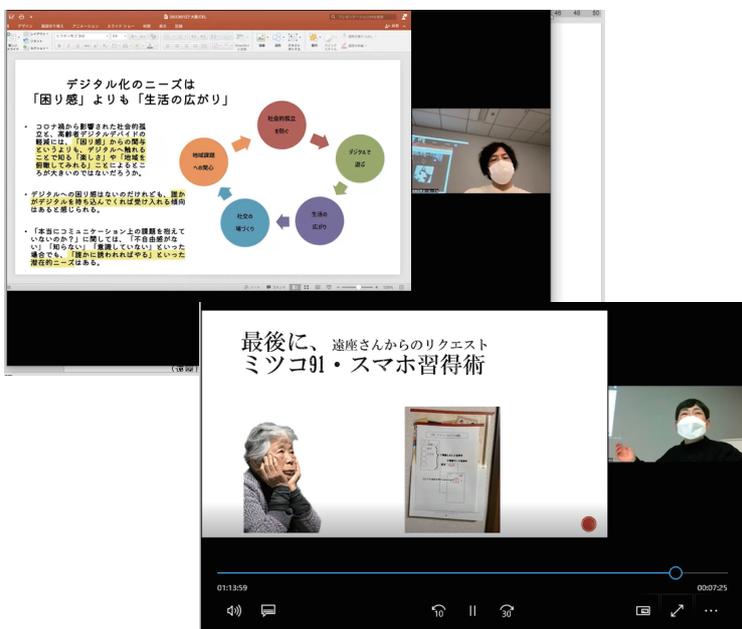
・私は今年60才になりますのでこれからの社会とのつながりなど参考になりました。

などが寄せられました。



③大阪ガスネットワーク株式会社エネルギー・文化研究所にて CEL サロン (担当:遠座)「老いは創られる！ヒトと地域の若々しさを保つ方策とは？」をテーマに、井川京子副理事長も登壇するオンライン併用イベントがありました。(於：グランフロント大阪 都市魅力研究室、90分、計75名が参加)

高齢者に対する無意識の偏見・エイジズムが、高齢者本人の気持ちも萎えさせ活力を奪っていることに対し、デジタルも活用して地域の活性化を実践している認定 NPO 法人いねいぶる宮崎理事長と一緒に、事例を交えながら高齢者の可能性について語りあいました。



【感想】

・明日は我が身、参加・継続しやすい面白い仕掛けが普通にあったらよい。認知症はアミロイド除去だけでは解決にならないのかもしれない。(医師)

・大変分かりやすくなごやかな雰囲気良かった。病は気から、ではなく老いは気持ちからですね。

などが寄せられました。

2月の予定

大阪大学との連携協定や年度末の活動まとめと次年度計画策定のため、関係各方面との打ち合わせなどを行います。

また、応用老年学会の大会が大阪大学豊中キャンパス 大学会館で10月に開催され、健康・生きがい就労をテーマに自治体参加のシンポジウムを担当することになり、その準備が始まります。

啓発・研修事業分野 (担当：山口)

1月の動き

スマホ講座関連

＊フレミラ宝塚

- ・Android コース2年生と iPhone コース2年生を1月18日、19日に実施しました。今回は Instagram の画面の構成や「いいね」や「コメント」の付与についての復習と撮影写真の投稿方法について学びました。
- ・初心者向けスマホコース (Android) 後期半年コースは1月19日に基本設定の振り返りと Google Earth を体験しました。
- ・それぞれのコースで再度学びたい項目についてアンケートをして残りの講座に反映することにしました。

＊摂津市社会福祉協議会

- ・初心者向けスマホ講座+チューター実習を併せて1月23日と30日にスマホ相談カフェとタブレットについて学びました。30日のタブレット講座は基本操作を中心に学びました。

1月の動き

＊フレミラ宝塚

- ・Android コース2年生 2月1日、15日
- ・iPhone コース2年生 2月2日、16日
- ・初心者向けスマホコース (Android) 後期半年コース 2月2日、16日

＊摂津市社会福祉協議会

- ・タブレット講座 2月13日

＊摂津市ステップアップ講座 2月20日、27日

各 AMとPMダブルヘッダー



シニアの子育て支援活動（SOMPO 福祉財団助成事業）として、各施設を回り集めてもらった子育てイベントのチラシや子育て情報の整理作業を、ここおるでのプチ就労として実施しました！

4人のプチバイトが集まり、資料の仕分けやファイリング、パソコンでのデータ入力をして頂きました。

「ここおるには興味があったが来る勇気やきっかけがなかった」という声も多く、多くの人にここおるに来るきっかけとなるイベントを作っていきます。

2月からは編み物のもくもく会「ニットカフェ」も始まりました。



スマホカフェ

1月のスマホカフェには3名の方がお越しくださいました。

うち2名はここおる初の男性でした。

お二方の年齢は88歳と91歳であり、こちらもこれまでの最高齢となります。

質問されることは超基本的なことばかりですが、いくつになっても向学心を持たれることへ感銘するとともに、まだまだ高齢者にやさしくないままデジタル化が進んでいるなど実感した1カ月でした。



大東夕学 シニアの学び直し塾 (ひょうごボランティア基金助成事業)

担当
井川

大東夕学

1月25日に第4回目の大東夕学を実施。この会では、大東市で生活サポート事業を展開している吉村悦子氏に講演をしていただき、後半はラボのメンバーによる朗読劇「どうする家康子」で人生会議について学んでいただきました。この朗読劇は、好評で、「難しそうなお話がよく理解できた」、「人生会議の必要性を感じたので、うちもそろそろしておかないといけないなあ」などの感想をいただきました。

ラボのメンバーも、初めての試みで不安げでしたが、それぞれの役柄を楽しんで演じておられました。皆さんの熱演は、大東市民の皆さんの心に届いたようで、「また再演して」とのリクエストも届いています。

おかげさまで、2023年度も継続の決裁が降りる模様です。

シニアの学び直し塾（ひょうごボランティア基金助成事業）

シニアの学び直し塾（ひょうごボランティア基金助成事業）は、3回連続でシニアのリスキングに関するセミナー、実技講習という構成で実施。

募集人数の倍近い応募があり、会場を倍に広げて対応しました。受講したシニアたちからは、「自分が現役の頃とは、違うスキルが求められていて、今後も続けて開催してほしい」「InstagramだけでなくCanvaも教えて！」などの声をいただきました。この学び直しのセミナー開催に加えて、ボランティア基金助成のもう一つの柱である「シニアの生きがい就労図鑑」の編集に鋭意取り組んでいます。（2月末完成予定）

両事業のチラシです

